

Application for Participation

Associated Schools Project(ASP) for Promoting International Education

わが故郷「二川」プロジェクト

一人とのつながりの中で、地域に育ち、地域を愛し、地域に貢献する心の育成—

Outline of the way Project(s) will be implemented in the institution
(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまでも「二川宿本陣まつり」への参加や「学校林保全活動」を通して、地域とともに、地域に根ざした教育活動を実践してきた。そこでは、多くの地域の人々の協力を得て、生徒は地域の人々から伝統文化、伝統芸能、ボランティア精神など多くのことを学んできている。さらに、地域とともに地域から持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（E S D）を推進し、生徒に地域への愛着や感謝の気持ちを育みたいと考えた。

「二川宿本陣まつり」は、平成3年（1991年）、二川宿本陣資料館の開館と同時に、二川地区の活性化を目的として始まり、平成8年には吹奏楽部、平成12年からは生徒が大名行列の一員として参加し本陣まつりを盛り上げてきた。平成14年からは2年生が全員参加し、大名行列の役者や裏方、イベントの担い手としてなくてはならない存在となっている。イベントでは、地域の方々（野菜・だんごの会、おやじの会）の支援を受け、旧街道沿いに2カ所の茶店を設営し、地域で採れた野菜や花、だんごなどの販売やお茶のサービスを行い、また、わら草履づくりの実演や篠笛の演奏、抹茶の接待など、伝統芸能文化の継承者としての役割も果たしている。

昭和23年（1948年）に国から本校に管理が委託された学校林は、長い間放置された状態が続いていた。平成10年、最初に植林されたクロマツやヒノキが大人2人がかりで抱えるほどの大木に成長していることから、この学校林を「ふるさとの森」として整備することに取り組み始め、平成11年度から営林署や地域の人々の協力を得て、間伐や下草刈りなどの保全活動を毎年行ってきた。学校と地域が一体となった学校林保全活動を通して、生徒たちが「ふるさと二川」の自然をより身近に感じ、環境保護の大切さや自然を大切にしようとする気持ちを育てている。

このことを「持続可能な開発のための教育」（E S D）の推進に結びつけていくために、全職員で共通理解を図り、これまでの教育課程を見直し、総合的な学習の時間を中心に生徒会活動や校区への情報発信活動も関連づけたE S Dカレンダーを作成し、実践していくこととした。このE S Dカレンダーを基に継続実践していくことで、将来にわたって地域のよさに気づき、地域の誇りと地域への愛着を育てていくことができると考えている。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、E S Dに「故郷を愛する」という観点から取り組む。本プロジェクトを通して、地域の人とのつながりの中で、自分たちが住む故郷の伝統芸能文化を学び、故郷の環境保護に努め、地域に貢献することによって、持続可能な社会づくりの担い手を育みたい。

そのために、本校では、以下の4つの活動で次のような目標を掲げる。

(1) 地域の伝統芸能文化を継承する活動

- ・「地域文化体験講座」
- ・「二川宿本陣まつり」

「地域文化体験講座」では、篠笛、わら草履づくり、茶道、つるし雛づくり、竹細工、折り紙、生け花、和太鼓、切り絵の体験学習や二川宿本陣の歴史、普門寺の歴史の学習を通して地域の伝統文化・歴史に親しみ、また、それらの作法や技能を習得することで、それを引き継い

(1) 地域の伝統芸能文化を継承する活動



「地域文化体験講座」ーわら草履づくりー



「二川宿本陣まつり」ー篠笛の演奏ー

(2) 地域の環境を保護する活動



「梅田川ふれあいクリーン作戦」



「学校林保全活動」

(3) 地域に貢献する活動



二川旧街道沿いに展示された幟旗



「灯籠で飾ろう二川宿」の生徒作品

(4) 学校行事等と関連づけた活動



体育祭



勤労体験学習（資源回収）

Type of materials to be used (使用する教材)

- ・「中学校 キャリア教育の手引き」文部科学省 2011
- ・「校区のあゆみ 二川・谷川・二川南」豊橋市総代会 2006
- ・「特色ある学校づくり (学校経営, 教育活動)」三河教育研究会 2008
- ・「二川宿本陣まつり『大名行列』開催実行委員会要項」

本陣まつり開催実行委員会 2014

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

生徒の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・生徒の様々な活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想, 発表から把握する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業参観や作品展示会, 行事等での成果の発表を行い, 意欲や態度を観察し評価する。

上記の評価とともに, さらに下記のことを実施して, ESD活動のさらなる充実を図る。

- ・行事後の「アンケート」や12月の「学校生活アンケート」により, 「地域学習の有効性」「地域への誇りと愛着についての意識変化」等の項目について尋ねるアンケートを保護者, 生徒, 教職員を対象に実施する。また, その結果を学校評議員に伝え, アドバイスをいただく機会を設ける。
- ・生徒の実態や地域の特色に沿ったカリキュラムになるように, 今年度の実践を基にESDカレンダーを見直し, 地域学習に関する具体的な活動内容の改善を図る。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して, ユネスコASPの参加申請をし, 少なくとも2年間以上上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また, 毎年ASPコーディネーター (*日本の場合は日本ユネスコ国内委員会) に活動のレポートを提出します。)

3/3/2014

Date (日付)

Principal 校長

Futagawa Junior High School 豊橋市立二川中学校

Principal's name (校長名 (*直筆))

Position (役職)

Institution's name (学校名)